

ID	規則番号	規則枝番号	変更年	規則概要	変更前	変更後	社会人	大学	高校	全軟一般	全軟少年	全軟学童
1	4.07	【注1】 4.03原注	2018 2019全軟補足	全野協320-43 没収試合防止に向けて（再周知）	各連盟運用	登録外選手が自チームの選手以外の場合だけに適用する	○	○	○ 自チームであっても登録外選手の出場した場合 特別規則4ケ-3 試合中_没収試合 試合後_チームの勝利を取消す	○2019補足 試合終了後に発覚した場合、勝利を与えられるチームが何らかの理由で次の試合ができない場合は、次の対戦相手に勝利を与える	○2019補足 試合終了後に発覚した場合、勝利を与えられるチームが何らかの理由で次の試合ができない場合は、次の対戦相手に勝利を与える	○2019補足 試合終了後に発覚した場合、勝利を与えられるチームが何らかの理由で次の試合ができない場合は、次の対戦相手に勝利を与える
2	5.07	(c)	2018	投手の遅延行為	塁に走者がいないとき、投手はボールを受けた後12秒以内に打者に投球しなければならない。違反した場合、球審はボールを宣告する。	<b>社会人・大学連盟</b> 走者がいるとき解釈拡大 <b>走者がいる場合：20秒以内、警告し二度繰り返したら以後その都度ボール宣告</b>	○ 走者がいるとき拡大	○ 走者がいるとき拡大	○ 規則通り 走者がいないとき適用	○ 規則通り 走者がいないとき適用	○ 規則通り 走者がいないとき適用	○ 規則通り 走者がいないとき適用
3	5.10 5.07	(k) (b)	2018 2019	全野協320-42 ベンチ前キャッチボールの禁止  準備投球	各連盟運用	目標：2020年までに完全実施できるようにする <b>2019社会人、大学規則適用ベンチ前キャッチボール禁止</b> (社会人・大学特別規則1)	○ 「準備投球」は規則5.07 (b) 準用	○ 「準備投球」は規則5.07 (b) 準用	× 準備投球 8球以下1分間を超えてはならない <b>高校特別規則29</b> ベンチ前キャッチボール従来通り	× 準備投球 初回8球以内 次回から4球以内 ベンチ前キャッチボール (2組4名以内)	× 準備投球 初回8球以内 次回から4球以内 ベンチ前キャッチボール (2組4名以内)	× 準備投球 初回8球以内 次回から4球以内 ベンチ前キャッチボール (2組4名以内)
						<b>2019社会人・大学 ベンチ前キャッチボールの禁止に関する特例事項</b> ①投手及び野手のベンチ前キャッチボールは禁止する。ただし、投手交代時に、次に登板する投手が、交代を告げている間、ベンチ前でキャッチボールをすることは認める。 ②降板した投手は、代わりに登板した投手がピッチング練習をしている間、クールダウンとしてベンチ前でのキャッチボールを認める。 ③5回のグラウンド整備の時に、次に守備に就くチームの投手が、グラウンド整備の間キャッチボールをすることは認める。						
4	5.10	(l) 関連	2018	内野手（捕手含む）が投手のもとへ行ける回数	(各連盟運用規定)	(各連盟運用規定)	1イニングにつき1回1人だけ 打合せ時間：45秒以内	1イニングにつき1回1人だけ 打合せ時間：45秒以内	内野手（捕手含む）が二人以上マウンドに行った場合1回 1試合（9イニング）の回数：3回以内 延長回（タイブレーク含む）：1イニングに1回 打合せ時間：30秒以内 高校特別規則15	1試合（9イニング）の回数：3回以内 延長回（タイブレーク含む）：2イニングに1回 打合せ時間：1分以内 監督と行った場合は双方の1回	1試合（7イニング）の回数：3回以内 延長回（タイブレーク含む）：2イニングに1回 打合せ時間：1分以内 監督と行った場合は双方の1回	1試合（7イニング）の回数：3回以内 延長回（タイブレーク含む）：2イニングに1回 打合せ時間：1分以内 監督と行った場合は双方の1回

ID	規則番号	規則枝番号	変更年	規則概要	変更前	変更後	社会人	大学	高校	全軟一般	全軟少年	全軟学童
5	5.10	(ℓ) 関連	2018	攻撃側の話し合い (各連盟運用規定)			1試合(9イニング) の回数:3回以内 延長回(タイブレーク 含む):3イニ ングに1回 打合せ時間:45秒 以内	1試合(9イニング) の回数:3回以内 延長回(タイブレーク 含む):3イニ ングに1回 打合せ時間:45秒 以内	1試合(9イニング) の回数:3回以内 延長回(タイブレーク 含む):1イニ ングに1回 打合せ時間:30秒 以内 高校特別規則15	1試合(9イニング) の回数:3回以内 延長回(タイブレーク 含む):2イニ ングに1回 打合せ時間:1分 以内	1試合(7イニング) の回数:3回以内 延長回(タイブレーク 含む):2イニ ングに1回 打合せ時間:1分 以内	1試合(7イニング) の回数:3回以内 延長回(タイブレーク 含む):2イニ ングに1回 打合せ時間:1分 以内
6	5.10	(d)	2018	■同一イニングでは、投手が一 度ある守備位置についたら、再 び投手となる以外他の守備位置 に移ることはできないし、投手 に戻ってから投手域外の守備位 置に移ることもできない。 5.10(d)【原注】前段 ア マでは各連盟が特別規則を定め る			○	○	× 規則は適用しない (特別規則) (できる例) 投手-野手- 野手-投手、 投手-野手- 野手 高校特別規則9	× 規則は適用しない (特別規則) (できる例) 投手-野手- 野手-投手、 投手-野手- 投手-野手	× 規則は適用しない (特別規則) (できる例) 投手-野手- 野手-投手、 投手-野手- 投手-野手	× 規則は適用しない (特別規則) (できる例) 投手-野手- 野手-投手、 投手-野手- 投手-野手
7	5.10	(e)	2018	■コーティシーランナー(相手 の行為で適宜に許される代走 者)の禁止 5.10(e) アマ では各連盟の規定を適用する			○ 規則適用	× 北陸大学野球連盟 特別規則 頭部死球時に可 能:試合に出て いる9人の中から (打順の前位の 者、ただし投手お よび捕手を除く) 代走を認めて試合 を進行させる。	× 特別規則11.臨時 代走者 不慮の事故時 打者の場合:投手 を除いた打順の前 位の者 塁上の走者:投手 を除いた、その時 の打者の前位の者	× 頭部死球時に可 能:試合に出て いる9人の中から (打順の前位の 者、ただし投手お よび捕手を除く) 代走を認めて試合 を進行させる。	× 頭部死球時に可 能:試合に出て いる9人の中から (打順の前位の 者、ただし投手お よび捕手を除く) 代走を認めて試合 を進行させる。	× 頭部死球時に可 能:試合に出て いる9人の中から (打順の前位の 者、ただし投手お よび捕手を除く) 代走を認めて試合 を進行させる。
8	5.07	(a) (1) ① (a) (2) ②	2018	全野協320-41 二段モーション定義38【注】	定義38【注】	定義38【注】削除	○ 走者無:ペナル ティ無	○ 走者無:ペナル ティ無	× 走者無:反則投球 (従来通り) 高校野球特別規則 28	○ 走者無:ペナル ティ無 "ボール"とカウ ントしない。ただ し、攻守交代時 または試合終了 時にその投球動 作を注意し止め させる。	○ 走者無:ペナル ティ無 "ボール"とカウ ントしない。ただ し、攻守交代時 または試合終了 時にその投球動 作を注意し止め させる。	○ 走者無:ペナル ティ無 "ボール"とカウ ントしない。ただ し、攻守交代時 または試合終了 時にその投球動 作を注意し止め させる。

ID	規則番号	規則枝番号	変更年	規則概要	変更前	変更後	社会人	大学	高校	全軟一般	全軟少年	全軟学童
9	各連盟運用規則		2018	全野協320-42 “ミットを動かすな”運動の展開 (再周知)	(1) 捕手が投球を受けたときに意図的にミットを動かす (2) 捕手が自分でストライク・ボールを判断するかのような行動をとる (3) 球審の“ボール”の宣告にあたかも不満を示すように、しばらくミットをその場に置いておく	審判員への欺瞞行為、侮辱行為を止めさせる(マナーアップ) <b>2019再周知(左記事項)</b>	○ 運動の徹底	○ 運動の徹底	○ 運動の徹底	○ 運動の徹底	○ 運動の徹底	○ 運動の徹底
10	定義7		2018	申告敬遠制	—	新規規則	○	○	× 採用しない (高校野球特別規則27)	○	○	○
11	用具		2018	サングラス			使用できる	使用できる	試合前(メンバー交換時)に許可を得て使用できる (著しく反射するレンズの使用は認めない)	大会本部の承認なしに使用できる (ミラーレンズ使用可能)	大会本部の承認なしに使用できる (ミラーレンズ使用可能)	大会本部の承認なしに使用できる (ミラーレンズ使用可能)
12	用具		2018	手袋			打撃用手袋：使用可能 走塁用手袋：使用可能 守備用手袋：使用可能	打撃用手袋：使用可能 走塁用手袋：使用可能 (二塁打を打ち、走塁用手袋に変えるタイムは禁止) 守備用手袋：使用可能	打撃用手袋：使用可能(白・黒一色) 走塁用手袋：使用不可 守備用手袋：使用可能	打撃用手袋：使用可能 走塁用手袋：使用可能 (二塁打を打ち、走塁用手袋に変えるタイムは禁止) 守備用手袋：使用可能	打撃用手袋：使用可能 走塁用手袋：使用可能 (二塁打を打ち、走塁用手袋に変えるタイムは禁止) 守備用手袋：使用可能	打撃用手袋：使用可能 走塁用手袋：使用可能 (二塁打を打ち、走塁用手袋に変えるタイムは禁止) 守備用手袋：使用可能
13	用具		2018	スパイク			異なるメーカーのデザインであっても、同色であれば使用を認める	異なるメーカーのデザインであっても、同色であれば使用を認める	表面カラーは黒一色、エナメルおよび光沢のある素材は使用できない	色は自由とし、全員同色でなくても構わない	色は自由とし、全員同色でなくても構わない	色は自由とし、全員同色でなくても構わない

ID	規則番号	規則枝番号	変更年	規則概要	変更前	変更後	社会人	大学	高校	全軟一般	全軟少年	全軟学童
14	5.10	(ℓ)	2019	監督またはコーチが投手のもとへ行くことに関して、アマでは各連盟の規定を適用する(全軟連)	下記1~4が提示されたが全軟連では2・3は採用しない	<b>アマ統一 1~4 規則通り適用</b> (1)監督またはコーチがファウルラインを越えて投手のもと(マウンド)へ行った場合は必ず1回に数える。(但し投手交代の場合を除く) (2)インニングの途中で監督・コーチが投手のもとへ行き投手交代をする場合:新しい投手がマウンドに到着し、その投手がウォームアップを始めたならば、その監督・コーチはベンチに戻る。もし、そのまま留まっていた場合には『一度』に数えられる。 (3)新しいインニングの初めに監督・コーチがマウンドに行った場合には、『一度』に数えられる。 (4)球審(審判員)は、監督・コーチに投手のもと(マウンド)へ行った回数を知らせる。	○ 1試合(9イング) の回数:3回以内 延長回(タイブレーク含む):規則適用 打合せ時間:45秒以内	○ 1試合(9イング) の回数:3回以内 延長回(タイブレーク含む):規則適用 打合せ時間:45秒以内	— 監督の指示を伝える伝令 1試合(9イング) の回数:3回以内 延長回(タイブレーク含む):1イングに1回 打合せ時間:30秒以内	○ 1試合(9イング) の回数:3回以内 延長回(タイブレーク含む):2イングに1回 打合せ時間:1分以内	○ (監督に限る) 1試合(7イング) の回数:3回以内 延長回(タイブレーク含む):2イングに1回 打合せ時間:1分以内	○ (監督に限る) 1試合(7イング) の回数:3回以内 延長回(タイブレーク含む):2イングに1回 打合せ時間:1分以内
15	6.02	(c)	2019	投手の禁止事項:ボールに唾をつける(全軟連)	6.02(c)項中の(4)(5)は規則通り実施するが(1)(2)(3)は採用しない	必携規則適用上の解釈(36)を削除し <b>指導事項</b> とする	○規則適用	○規則適用	○規則適用	△ (1)(2)(3)は指導事項	△ (1)(2)(3)は指導事項	△ (1)(2)(3)は指導事項
16	各連盟運用規則		2019	タイブレーク(実施状態)	全軟連のみ 0死満塁	<b>アマ統一 0死1・2塁</b>	○ 開始回:各大会規約により実施 打順:前回からの打順引継ぐ 走者:無死一塁二塁の状態	○ (北陸大学連盟) 開始回:10回より 打順:9回からの打順引継ぐ 走者:無死一塁二塁の状態	○ 開始回: 13回より 打順:12回からの打順引継ぐ 走者:無死一塁二塁の状態 続行不可の場合: 翌日再試合 15回以降:継続、ただし一人の投手は15イングまでしか投球できない 決勝戦:適用しない(再試合には適用)	○ 開始回: (1)延長13回より(天皇杯・国体除く) (2)試合開始後3時間00分を経過時 打順:前回からの打順引継ぐ 走者:無死一塁二塁の状態	○ 開始回: (1)延長8回より (2)試合開始後2時間30分を経過時 2イングを限度 同点の場合は抽選で決める(決勝戦には適用しない) 打順:前回からの打順引継ぐ 走者:無死一塁二塁の状態	○ 開始回: (1)延長8回より (2)試合開始後2時間30分を経過時 2イングを限度 同点の場合は抽選で決める(決勝戦には適用しない) 打順:前回からの打順引継ぐ 走者:無死一塁二塁の状態

ID	規則番号	規則枝番号	変更年	規則概要	変更前	変更後	社会人	大学	高校	全軟一般	全軟少年	全軟学童
17	各連盟運用規則		2019	投球制限（全軟少年）	1日の投球回数7回+タイブレーク2回	1日の <b>投球回数最大9回</b> ・タイブレークも9回の中で投球可能 タイブレーク方式の直前を投げ切った投手か、新たな投手（その日1球も投げていない選手）	-	-	-	-	○	-
18	各連盟運用規則		2019	投球制限（全軟学童）	1日の投球回数7回+タイブレーク2回	①1人の投手は <b>1日70球</b> 試合中70球に達した場合その打者が打撃を完了するまで投球できる ②1日の <b>投球回数7回</b> ・タイブレークも7回の中で投球可能	-	-	-	-	-	○
19	各連盟運用規則		2019	投球制限（高校： <b>新潟県高野連</b> ）	規定なし	1人の投手は <b>1日100球</b> <b>2019春季県大会限定</b> （検討中）	-	-	○	-	-	-
20	各連盟運用規則		2019	延長戦（全軟連）	試合開始後3時間30分（マスターズ・シニアは2時間30分）を経過した場合は新しいイニングに入らない	試合開始後 <b>3時間00分</b> （マスターズ・シニアは2時間30分）を経過した場合は新しいイニングに入らない	-	-	-	○	-	-